

令和2年度 第2回教員育成協議会【育成部会（研修会・教育フォーラム関係）】

1. 令和2年度 研修会実施概況について

【初任者研修】

(1) 対象者数等 (令和2年 4月 1日現在)

	小学校	中学校	高校	特別支援	養護教諭	栄養教諭	合計
採用者数	149	81	25	32	15	1	303
対象者数	130	75	26	26	10	5	272

(2) 実施日等

4/24 (代替), 5/22 (代替), 6/5, 6/19, 7/28・29(所内), 7/31, 8/17, 10/16
夏期研修 (各自選択日) [中止] 5/22 特別支援学校訪問参観

【中堅教諭等資質向上研修】

(1) 対象者数等 (令和2年 4月 1日現在)

	小学校	中学校	高校	特別支援	養護教諭	栄養教諭	合計
過年度	67	51	34	30	17	0	199
新規	39	27	30	17	6	5	124
対象者	106	78	64	47	23	5	323

(2) 実施日等

5/19(代替), 6/2・11・25(代替), 7/28(所外), 8/7, 8/19, 10/29

【研修全般】

実施状況等

(令和2年 11月 1日現在)

	中止	代替	分散	その他
4月	9	1		
5月	3	8		集約 1
6月	3	6	5	集約 2
7月・上期	2	2	3	
7月・夏期	15	9	34	遠隔 1 (※1)
8月・夏期	12	7	86	遠隔 4 (※2)
9月	0	0	3	
10月	1	1	10	

■ 県外講師 来所「不可」により、緊急対応として実施

(※1) 信州大; 両川心理士(特支)

(※2) 文科省; 直山視学官(英語) 市川学力調査官(英語) 特総研; 杉浦, 土井研究員(特支) 信大附; 白井前教科調査官(音楽)

[成果・課題等] 受講者アンケート, 運営担当まとめより

○成果

- ・総合教育センターでの感染症予防対策が十分に行われ、安心して対面研修に臨むことが出来た。
- ・コロナ禍に於いて対面研修の形をとらず「代替研修」で行えたことは、評価出来た。
- ・YeLの事前視聴が有効であった。SWOT分析等の基礎知識が定着し、当日の講義に生かされた。
- ・中止や資料のみの代替研修ではなく、安全に配慮したリモートでのオンライン研修は、音声が届かない等の課題は残ったが、初めての試みとしては成果があった。
- ・講師は来県できずICT活用によるリモートでのオンライン研修であった。同時双方向による説明・意見交換等を交えながら、一人一台でのiPad演習も行い、今後の実践に活かせると評価をいただいた。

○課題等

- ・研修内容をより深く理解するためには、対面でじかに講師からのお話しを受けたかったとの声が多かった。
- ・研修内容によっては来所せずに、オンライン研修で良かったのではないかという声もあった。
- ・今年度センターの状況がきちんと説明できないなか、講師との交渉をせざるを得なかった。依頼や交渉等については、センターの方針・枠組みを早めに決定しないと、外部との対応が難しくなると感じた。
- ・夏季休暇が短縮され研修会の参加が難しくなったことで、日程変更も検討して欲しいという声があった。
- ・県外からの講師が急遽来所出来なくなり、ZOOMによるオンライン研修として対応した。ネット回線や機器の扱い等、オンライン研修を行う際の課題はまだ多く、今後検討をすすめていくことが必要である。
- ・リモートによるオンライン研修では、講師からは「会場の雰囲気伝わりにくい」との声をいただいた。会場側におけるファシリテーターとしての役割が重要であると感じた。